

家畜衛生だより

From 中央家保 家きん農家 用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会

福島県で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の 疑似患畜を確認！(国内20例目)

所在地: 福島県伊達市

飼養状況: 肉用鶏(約1.7万羽)

経緯: 11月28日 農場から、家きんの死亡羽数が増加している旨の通報があり、当該農場へ移動の自粛を要請し、県が立入検査を実施。同日、簡易検査を実施し陽性が判明。
11月29日 遺伝子検査の結果、HPAIの疑似患畜と確認。

第81回家きん疾病小委員会において、高病原性鳥インフルエンザの 続発を踏まえた緊急提言が取りまとめられました。

全国的に環境中のウイルス濃度が高まっている状況！

渡り鳥や野鳥の糞により農場敷地内にウイルスが残存する可能性を念頭に鶏舎内へのウイルス侵入防止対策が重要！以下の対策を徹底してください！

家きん飼養農場における防疫対策

- 従業員等に、消毒、長靴交換等の重要性を説明し、適切な消毒、長靴の交換を再確認
- 農場敷地内や鶏舎周囲の消毒を毎日行う。消毒はため池等の水場を意識し、その近くはリスクが高いことから、徹底して消毒を行う。
- 猫やイタチ等の小動物や野鳥等が農場内に近づかないよう対策を講じる。
- 一見隙間がないように思われる鶏舎でも、飼養衛生管理者と鶏舎構造を熟知した者が連携し野生動物等が侵入しそうなルートを探し侵入防止対策を講じる。
- ウイルスを鶏舎内に持ち込まないよう衛生管理区域に入る際の適切なタイミングでの専用衣服の着用、鶏舎ごとの専用長靴の設置、手指消毒および長靴の消毒・交換等の適正な衛生管理が日常的になされているか再確認
- 長靴の汚れを落としてから消毒し、消毒薬は汚れた都度、最低でも1日1回以上交換し、消毒薬が有効な状態での使用を徹底する。
- 交差汚染防止のため鶏舎内外の長靴の動線が交わらないように注意する。

発生地域における防疫対策

- 移動制限区域内では、感染拡大リスクが増大していることを念頭に行動する。
- 発生農場周囲の主要道路やため池周辺の消毒、ため池の水抜き等の野鳥対策等について、地域関係者が一体となった取り組みの徹底
- 続発防止のため、関係機関が一体となりまん延防止対策を徹底

家きんの異状を見つけたら、速やかに家畜保健衛生所へ通報を！

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 FAX. 043-286-0090 ※休日、夜間は転送、5回以上コールしてください

農場周辺の**高病原性鳥インフルエンザ**のウイルスが **非常に多くなっています！**

全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。
これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！

**家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが
特に重要**です！

発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の**消毒は毎日**行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に**消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認**をお願いします！
- **長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換**しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲には**ウイルスが侵入する経路が多く存在**していますので、今一度、**点検・確認**をお願いします！

ため池等の水場を
意識し、その近く
は徹底して消毒！

衛生管理区域内の
野生動物対策



池
**農場内や家きん舎周囲
の消毒は毎日実施**

家きん舎入口の人・物対策



**専用長靴の設置
交差汚染防止**



**消毒薬は毎日
又は汚れたら
その都度交換**



**長靴は汚れを
落としてから消毒**

衛生管理区域入口の
人・車両・物対策



**専用の服・車両・手指・
長靴の使用 物品消毒の徹底**

家
き
ん
舎

家きん舎の野生動物対策



**集卵ベルト等の 防鳥ネットや
開口部の隙間対策 鶏舎破損の補修**



◆ 飼養家きんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HPI「鳥インフルエンザに関する情報」→

